

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業

事業概要資料

1. 「成長分野等における中核的専門人材養成等戦略的推進」事業とは
2. 事業概要説明
3. 事業の推進体制・参加協力機関
4. 事業内容

北海道大学

文部科学省「成長分野等における

1. 中核的専門人材養成等戦略的推進」事業 とは

○事業の目的

専修学校、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、高等学校等と産業界等が産学官コンソーシアムを組織し、その下で具体的な職域プロジェクトを展開し、協働して、社会人、女性、生徒・学生の就労、キャリアアップ、キャリア転換に必要な実践的な知識・技術・技能を身につけるための教育カリキュラム等を開発・実証するものです。本事業により、成長分野等における中核的専門人材や高度人材の養成を図るとともに、特に、社会人や女性の学び直しを全国的に推進する。(平成23年度～)

分野	コンソーシアム		職域プロジェクト			
	代表校	事業名	職域	代表校	事業名	全国版
食・農 林水産 (林業)	5. 鹿児島 大学	地域経済成長の一翼を担う林業再生のための人材育成体系の構築と教育評価・普及	林業	鹿児島大学	中核的林業生産専門技術者養成プログラムの開発事業	○
			林業	北海道大学※	北海道に即した中核的林業技術者養成プログラムの開発事業	
			林業	島根大学※	後発林業地における経営マインドをもつ「革新的森林経営」の担い手育成プロジェクト	

※今年度新規事業

＜採択＞
25コンソーシアム
93職域プロジェクト
(全国版45、
地域版48)

2. 事業概要

●課題・ニーズ・背景等

- ・豊富な森林資源を持つ北海道では**林業再生が重要な地域課題**
- ・林業経営、木材生産を統括する林業技術が育成されているが、
即戦力となるキャリアアップが必要。
- ・樹種や流通構造が他地域と異なる**北海道独自の人材育成が必要**

●取組の概要

- ・即戦力として活躍するために求められる能力を明らかにするための
ニーズ調査を実施。
- ・ニーズ調査とH25年度コンソーシアム検討結果を踏まえて必要な
カリキュラムを構築
- ・カリキュラムを**実証講座**で試行しながら評価

●成果目標(アウトカム)

1.プランナーフォレスターのスキルアップ

・地域の林業ビジョンを描き、所有者を取りまとめ、需要者と所有者の要求にこたえながら木材生産を進める、プランナー・フォレスターを育成する。

2.北海道林業の再生・森林の持続的管理の推進

・この人材育成によって、北海道の林業の再生、森林の持続的な管理を進める。

3. 事業の推進体制・参加協力機関

● プロジェクト体制

職域プロジェクト検討委員会

- ・大学、関係機関、関係企業とのコーディネート
- ・フォレスター、森林施業プランナーに対するキャリアアップニーズの把握
- ・フォレスター、森林施業プランナーのキャリアアップのためのカリキュラムの構築
- ・実証講座の評価を受けて、テキストを完成させ、カリキュラム達成評価の方法の構築

実証講座ワーキンググループ

- ・実証講座の内容の具体的な検討、実証テキストの作成
- ・実証講座の評価

● 参加・協力機関

○ 教育機関

- ・北海道大学

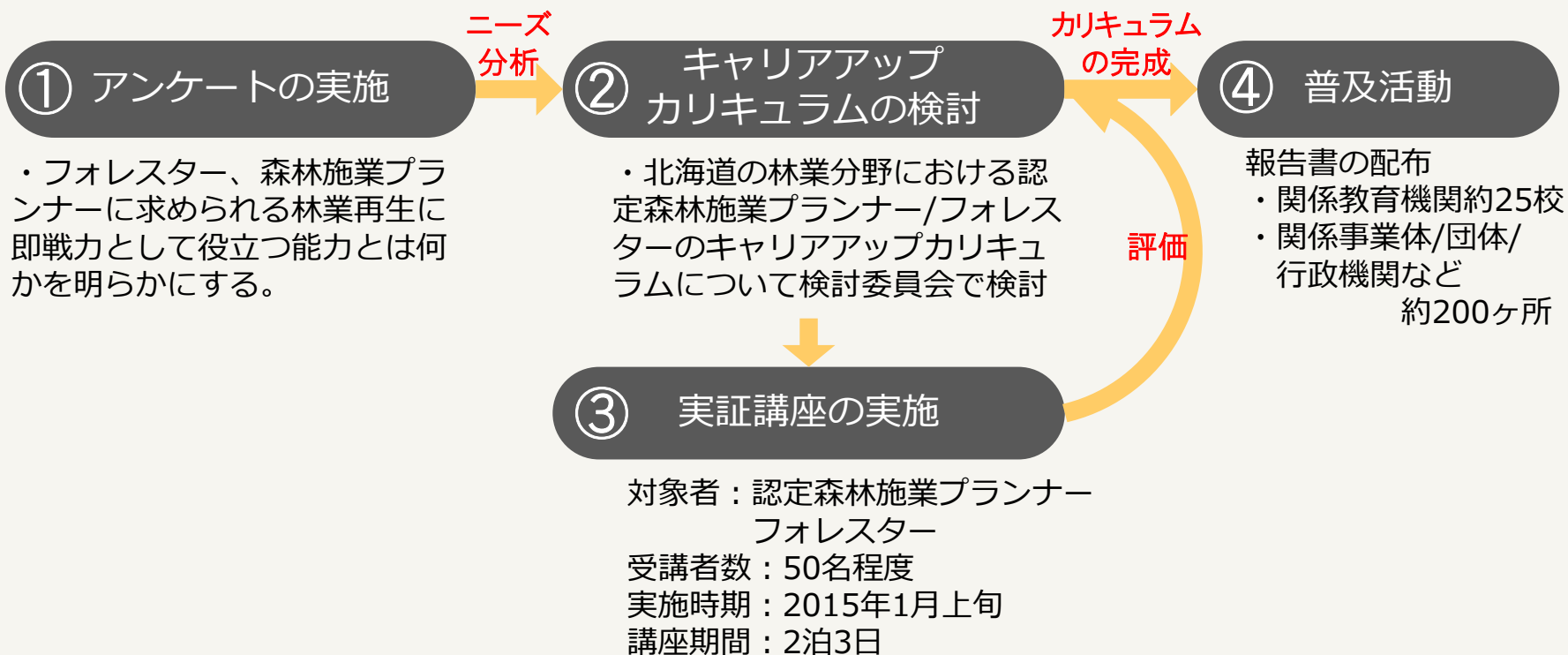
○ 産業団体・企業等

- ・北海道森林組合連合会
- ・北海道木材産業
協同組合連合会
- ・森林整備担い手センター

○ 行政機関

- ・北海道庁水産林務部
- ・北海北海道森林管理局

4. 事業の内容



●成果(アウトプット)

- ・認定森林施業プランナー、フォレスターのキャリアアップを行うためのモデルカリキュラムを学習ユニット積み上げ方式で構築する。
- ・実証講座で学習ユニットを試行する。
- ・実証講座をモニタリングしつつ、達成度評価基準、方法の開発する。
- ・業界内で学習成果が認知され、認められる枠組みについて検討する。

●成果の活用

- ・構築したモデルカリキュラムをもとに、業界団体とともに個別学習ユニットごとに社会人向け短期プログラム化を行う。
- ・モデルカリキュラム基準、達成度評価の普及を図るため、セミナーを開催する。
- ・モデルカリキュラムやテキストを既存の林業技術者教育プログラムに組み入れる。
- ・全国的なカリキュラム検討にフィードバックする。